

受付	個人質問	第	号
	令和 年 月 日	時	分

一般質問＜個人＞発言通告書

令和7年8月20日

長久手市議会議長 殿

長久手市議会議員 木村さゆり

会議規則第59条第2項の規定により下記のとおり通告します。

	質問事項及び要旨	備考
1	<p>市民サービスの向上を</p> <p>昨今、DX化が進み、窓口対応などが進化してきている。市民の満足度向上には、市民の立場に立ち、期待に応えることが重要である。</p> <p>(1) 平日昼間に来庁できない市民のため、夜間や休日の窓口対応の拡充は検討しているのか。</p> <p>(2) オンライン申請の状況と今後の方針はどのようなか。</p> <p>(3) 職員の時差出勤の状況はどのようなか。</p> <p>(4) 専門性を高めることが市民サービスの向上につながると思うが見解はどのようなか。</p> <p>(5) 窓口対応に関する市民の声をどのように反映させているのか。</p>	
2	<p>フェーズフリー防災について</p> <p>近年、地震や豪雨、台風などの自然災害が頻発する中で防災対策は地域社会の最重要課題の一つである。これまでの防災は「災害時」に焦点を当てた特別な対応が主流であったが、近年では平常時から防災を意識し、生活の中で自然に備える「フェーズフリー」という新しい発想の防災が注目されている。</p> <p>(1) フェーズフリー防災に対する認識はどのようなか。</p> <p>(2) フェーズフリーの考え方の周知啓発についての見解は</p>	

	<p>どのようなか。</p> <p>(3) まちづくりにフェーズフリーを取り入れることに対する見解はどのようなか。</p> <p>(4) 学校教育の中にフェーズフリーを導入することについての見解はどのようなか。</p>	
3	<p>母子保健DXの推進について</p> <p>国においては、妊娠・出産・子育て期を通じた切れ目のない支援の実現に向けて、母子保健DXの推進が進められている。電子母子手帳の導入や健診予約のオンライン化、関係機関との連携の強化などにより、市民の利便性向上と業務の効率化が期待されている。</p> <p>(1) 母子保健DXの推進により、市民や自治体及び医療機関にとって期待できる効果はどのようなか。</p> <p>(2) 国では令和8年度から電子版母子保健手帳の普及を含む母子保健DXの全国展開を目指すとしているが、国が示すスケジュールどおり実施することは可能か。</p> <p>(3) 里帰り出産をする際の事務手続きはどのように改善されるのか。</p>	